

Suica

● ICカードの名称

「スイスイ」行ける「IC」カードの意味。
Super Urban Intelligent CArdの略。

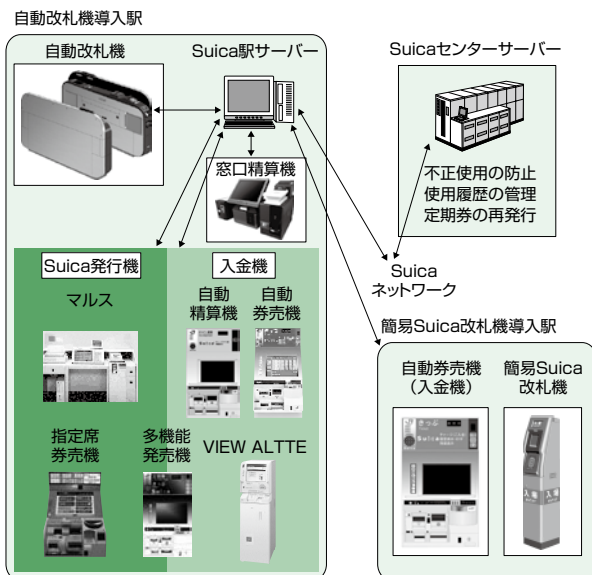
● コンセプト

サービスアップ	利便性の向上と新たなサービスの提供
システムチェンジ	駅でのキャッシュレス化、チケットレス化
コストダウン	可動部の減少等によるメンテナンス・インニシャルコストの削減
セキュリティアップ	偽造・変造カードの使用防止
ビジネスチャンス	Suicaの新たな可能性を追求し、新ビジネスを展開

● 特長

改札時	バスケースに入れたまま、改札機に軽く触れるだけで通過可能です(タッチ&ゴー)
自動精算	定期区間外でも改札機にタッチするだけで自動精算が可能のため、きっぷの購入やのりこし精算が不要になります
繰り返し利用	入金(チャージ)機能と定期券のリライト(券面書替)機能で、1枚のカードを繰り返し利用できます
Suicaネットワーク	ICカードの情報をカードごとに管理することにより、利用履歴の管理・Suica定期券の紛失時の再発行等を行います
電子マネー	入金(チャージ)したお金がお店での買い物にもご利用いただけます

● Suica出改札システム取扱機器

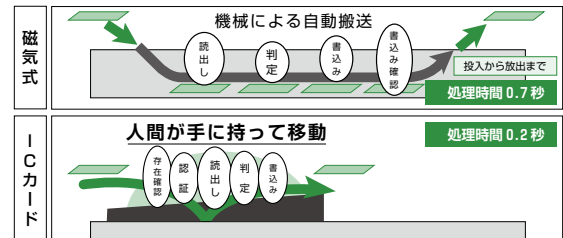


○ 自動精算

Suica 定期券の自動精算イメージ



○ 磁気式と IC カードの処理の違い

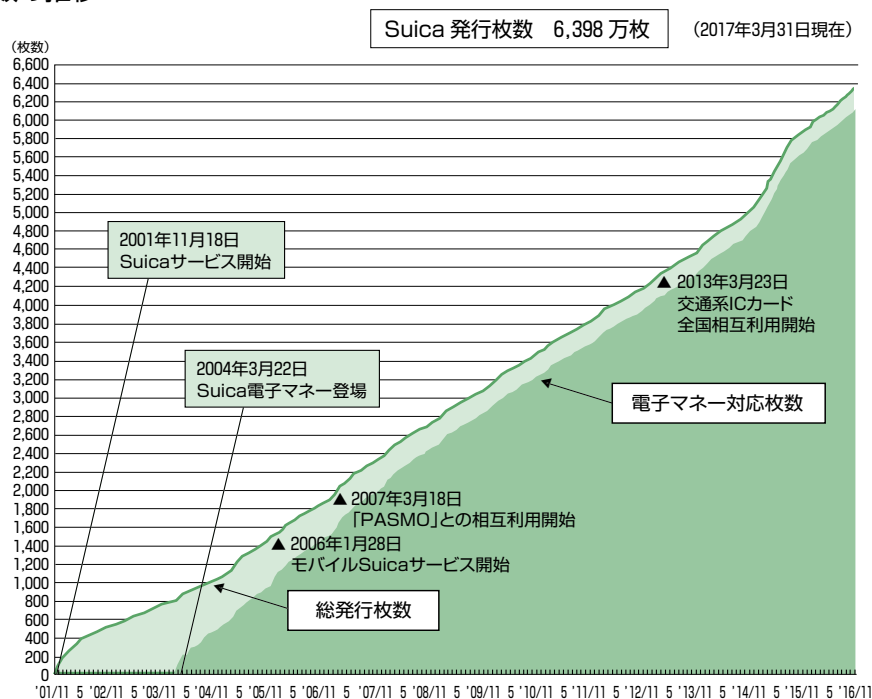


● Suicaのあゆみ

2001. 11. 18	首都圏エリアの424駅でのSuicaの本サービス開始
2002. 4. 21	東京モノレール(株)との相互利用開始
12. 1	東京臨海高速鉄道(りんかい線)との相互利用開始
2003. 7. 1	「ビュー・スイカ」カードサービス開始
10. 12	Suica定期券による新幹線利用サービス開始
10. 26	仙台エリアの66駅でのSuicaサービス開始
2004. 3. 22	Suica電子マネーサービス開始
8. 1	JR西日本「ICOCA」との相互利用開始
10. 16	「グリーン車Suicaシステム」導入
2006. 1. 21	新潟エリアの36駅でのSuicaサービス開始
1. 28	モバイルSuicaサービス開始
2007. 3. 18	「PASMO」との相互利用開始
6. 1	「Suicaポイント」サービス開始
2008. 3. 15	「モバイルSuica特急券」サービス開始
	首都圏・新潟エリアの31駅でのSuicaサービス開始
3. 18	JR西日本「ICOCA」との電子マネー相互利用開始
3. 29	「ICOCA」とJR東海「TOICA」との3者相互利用開始
	モバイルSuicaとEX-ICサービスの連携開始
2009. 3. 14	JR北海道「Kitaca」との相互利用開始
	首都圏・仙台エリアの112駅でのSuicaサービス開始
	新潟エリアの3駅でのSuica FREX定期券サービス開始

2009. 7. 27	Suicaインターネットサービス開始
2010. 3. 13	JR九州「SUGOCA」、西日本鉄道「nimoca」、福岡市交通局「はやかけん」との相互利用開始
	「ICOCA」「TOICA」との電子マネー3者相互利用開始
2011. 7. 23	スマートフォンでのモバイルSuicaサービス開始
2013. 3. 23	交通系ICカード全国相互利用サービス開始
	新潟交通「りゅうと」エリアでのSuicaサービス開始
2013. 6. 22	札幌市交通局等「SAPICA」エリアでのSuicaサービス開始
2014. 4. 1	首都圏・仙台・新潟エリアの33駅でのSuica一部サービス開始
	IC運賃の導入
2014. 10. 1	吾妻線の3駅でのSuica一部サービス開始
2015. 3. 14	気仙沼線BRT・大船渡線BRT「odeca」エリア、富士急行線でのSuicaサービス開始
2016. 3. 26	仙台エリアでの仙台市交通局等「icsca」との相互利用開始
	首都圏・仙台エリアの7駅でのSuica FREX定期券サービス開始
	陸羽東線の2駅でのSuicaサービス開始
2016. 10. 25	Apple PayでのSuicaサービス開始
2017. 4. 1	首都圏・仙台エリアの12駅でのSuicaサービス開始
	首都圏・新潟エリアの10駅でのSuicaサービス拡大

● Suica発行枚数の推移

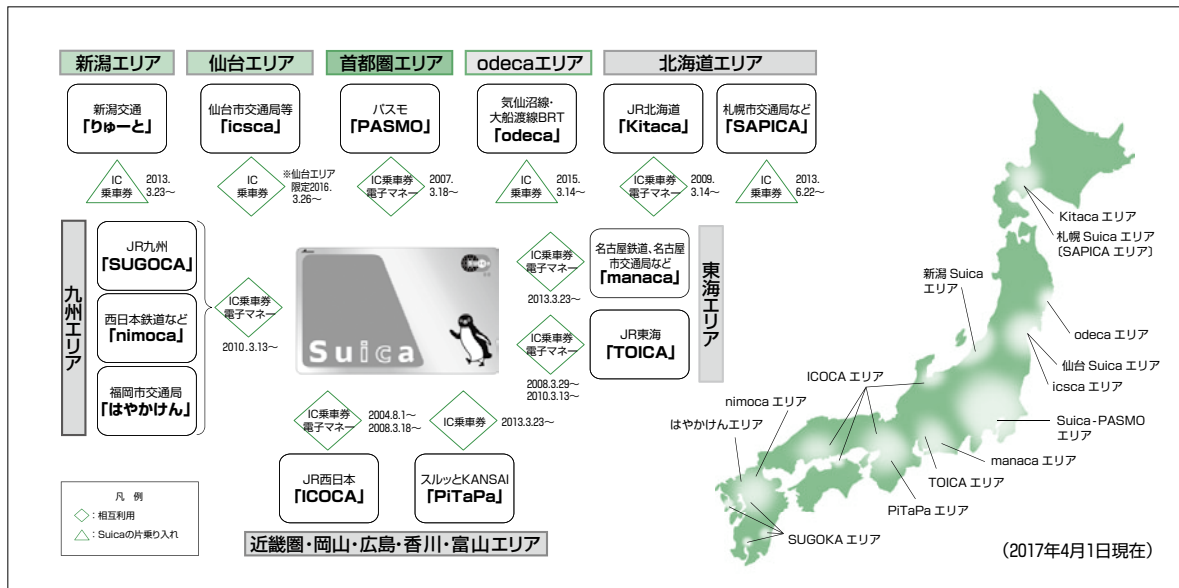


● 相互利用の推進

○ 当社利用可能駅

・首都圏エリア 636駅 ・仙台エリア 116駅 ・新潟エリア 65駅

○ Suica の相互利用イメージ



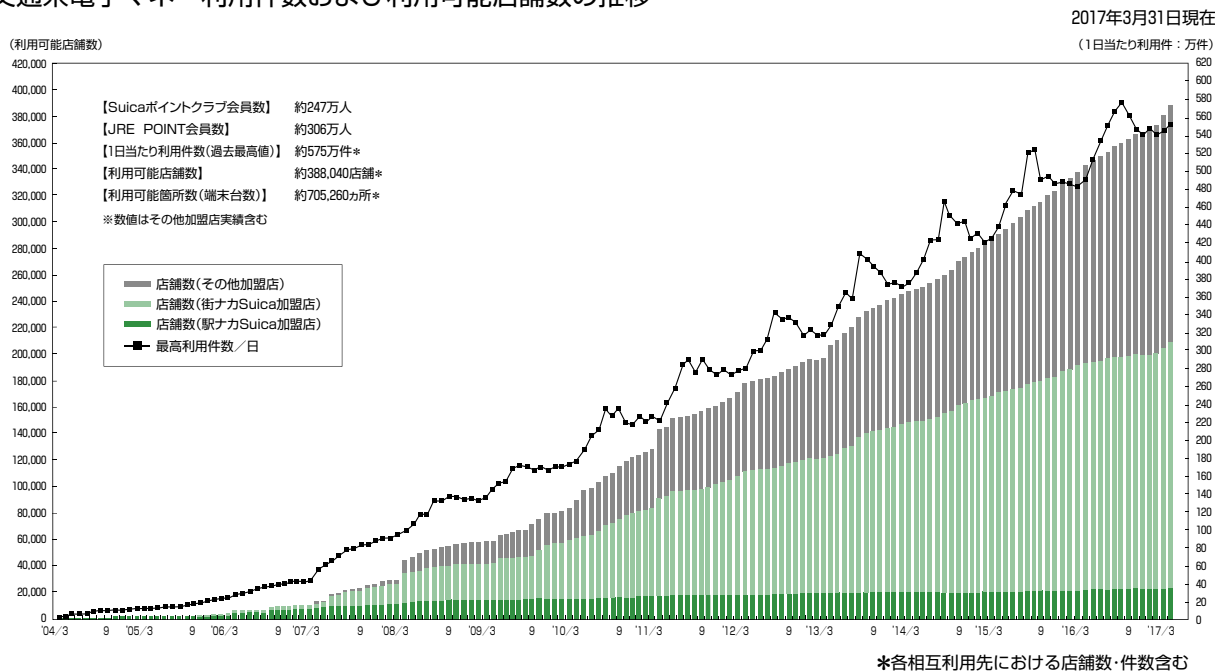
● グリーン車Suicaシステム

2004年10月のダイヤ改正にあわせて湘南新宿ライン・宇都宮線・高崎線において、普通列車グリーン車の営業運転を開始するとともに、Suicaを活用した「グリーン車Suicaシステム」を新たに導入し、車内改札を省略しました。さらに、2006年3月のダイヤ改正にあわせて東海道線・横須賀線・総武(快速)線等に、2007年3月のダイヤ改正にあわせて常磐線(中距離電車)に、2015年3月のダイヤ改正にあわせて上野東京ラインにこのシステムを導入しました。



車内イメージ

● 交通系電子マネー利用件数および利用可能店舗数の推移



● Suicaポイントクラブ

Suicaポイントクラブは、会員がSuicaポイント加盟店マークのある店舗で、登録したSuicaで買い物をすることにより、自動的にポイントがたまるサービスです。たまったポイントはSuica電子マネーに交換することができ、電車やバス、ショッピングなどに利用することができます。また2016年7月には今まで以上にSuicaポイントクラブを身近にご利用いただけるよう「Suicaポイントアプリ」のサービスを開始しました。

Suicaポイントクラブの会員数は、2017年3月末時点で約247万人です。なお、2017年12月には「JRE POINT」へ共通化します。



● Suicaインターネットサービス

インターネットに接続されたパソコンと「FeliCa ポート / パソリ」を使って、Suica へのチャージや、インターネットショッピングの決済に Suica を利用できるサービスです。

Suica インターネットサービスの会員は、2017 年 3 月末時点で約 34 万人です。



● Suicaを利用したビル入退館管理システム

普段お使いいただいているSuicaをビル入退館用カードとして利用できるもので、ビルの入退館チェックや、照明・空調・エレベーターなどの制御にも応用できます。



● JRE POINT

JRE POINTは、「貯まりやすく」「使いやすい」ポイントサービスを提供することにより、お客さまの満足度を高めることを目的として、2016年2月に開始したサービスです。駅ビルなどJRE POINT加盟店でのご利用金額100円(税抜)につき1ポイントが貯まり、貯まったポイントはJRE POINT加盟店で1ポイント=1円としてご利用いただけるほか、鉄道関連商品と交換することができます。

JRE POINTの会員数は、2017年3月末時点で約306万人、利用可能箇所数は17社71施設となりました。また、2017年12月にSuicaポイント、2018年度中にビューサンクスポイントとの共通化するほか、2018年3月からはSuicaグリーン券への交換もできるようになります。



● 他の機能と一体化したSuica(多機能Suica)

Suica付学生証(社員証)については東急電鉄が展開するPASMO付学生証(社員証)と管理運用業務を統一し、ひとつの学校(企業)にSuica付学生証(社員証)とPASMO付学生証(社員証)を提供することで、学生(社員)がいずれかを選択できるようにしています。

名称	提携先	発行開始	備考
ゆうちょICキャッシュカードSuica	ゆうちょ銀行	2009. 4	ゆうちょ銀行のICキャッシュカードとの一体化(定期券機能無し)
Suica付学生証 Suica付社員証	学校、企業等	2008.11	学生証・社員証との一体化(定期券機能有り)

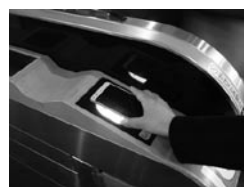
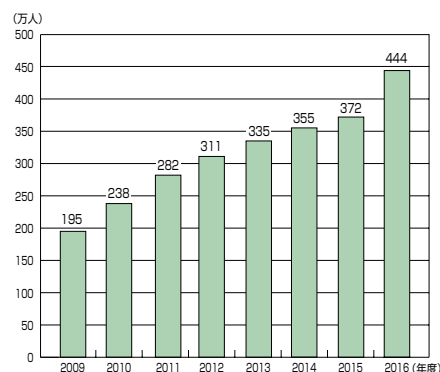
●「モバイルSuica」サービス

携帯情報端末にSuica機能を搭載した「モバイルSuica」は、自動改札機などのSuicaマークのついた読み取り部にタッチするだけで利用でき、携帯情報端末の特徴(通信機能、表示機能)を活用して、「いつでもどこでも」チャージやSuica定期券、Suicaグリーン券の購入、ネットショッピングにおける決済、残額や利用履歴の表示が可能です。

また、「モバイルSuica」でJR東日本の新幹線(東北・山形・秋田・北海道・上越・北陸)をチケットレスで利用できる「モバイルSuica特急券」(「モバトク」・「スーパーモバトク」)は、チケット情報を携帯情報端末へダウンロードすれば、新幹線改札機をタッチ&ゴーで利用でき、新幹線の駅相互間は、紙のきっぷの自由席のお値段以下で普通車指定席にご乗車できます。

2011年7月23日より、(株)NTTドコモ、KDDI(株)、ソフトバンク(株)が展開するおサイフケータイ®対応Android™搭載スマートフォンでも、「モバイルSuica」サービスを開始し、2015年12月14日よりMVNO端末でもご利用いただけるようになりました。会員数は2017年3月末時点で約444万人です。

○モバイル Suica 累計会員数の推移



利用イメージ

● Apple PayでのSuicaサービス

2016年10月よりApple PayでのSuicaサービスが開始となり、それまでモバイルSuicaに対応していたフィーチャーフォン、Androidスマートフォンに加え、iPhoneやApple WatchでもSuicaのサービスがご利用いただけるようになりました。ご利用にあたってはお手持ちのSuicaを取り込むか、App StoreからSuicaアプリケーションをダウンロードしてSuicaを新規発行していただきますが、Suicaアプリケーションに会員登録していただくとともにSuica定期券、Suicaグリーン券、モバイルSuica特急券をご利用できるようになります。



※対応機種 (2017年3月末時点)
iPhone 7、iPhone 7 plus、
Apple Watch Series 2

■ビューカード

●ビューカードのあゆみとカードのラインナップ

1993年 2月 2日	ビューカード発行開始
1994年 4月 1日	ビュー・ジパングカード発行開始
1998年 4月 1日	ビュー法人カード発行開始
2000年 4月 1日	VISAとの提携開始
2000年 8月 1日	インターネットでビューカード申込受付開始
2001年 10月 1日	VIEW ALTTEの設置開始
2003年 3月 17日	ビューカード会員へのインターネットサービスVIEW's NET開始
2003年 7月 1日	「ビュー・スイカ」カードサービス開始
2003年 7月 1日	JCBとの提携開始
2003年 10月 1日	「ビュー・スイカ」カードの「サンクスチャージ」サービス開始
2004年 3月 1日	MasterCardとの提携開始
2004年 4月 30日	ビュー・スイカVISAカードの国際化
2006年 1月 10日	定期券機能付「ビュー・スイカ」カード発行開始

2006年 3月 1日	ビジネスえきねっとカード発行開始
2006年 10月 1日	オートチャージサービス開始
2009年 7月 25日	オートチャージ(リンク)サービス開始
2009年 9月 1日	全額出資子会社として株式会社ビューカード設立
2010年 2月 1日	クレジットカード事業等を株式会社ビューカードに分割し本格的な事業運営がスタート
2010年 3月 13日	モバイルSuicaオートチャージサービス開始
2015年 2月 20日	株式会社ビューカードで外貨両替業務開始
2015年 4月 23日	ビューゴールドプラスカード・家族カード発行開始
2015年 12月 21日	ビューゴールドラウンジサービス開始
2016年 9月 28日	海外発行カード専用キャッシュディスペンサーの設置開始
2016年 10月 25日	Apple Payサービス開始
2016年 11月 22日	有効会員数500万人突破

○「ビュー・スイカ」カード

ビューカードとSuicaが一体化したカードです。JCB・VISA・MasterCardの3つのブランドから選択できます。クレジット決済だけでなく、Suicaとしてご利用できるほか、定期券機能も搭載している多機能カードです。また、2015年4月からは家族カードを発行しています。



○ルミネカード

ルミネでのショッピングが5%割引になるほか、Suica定期券機能も搭載しています。



○ビューゴールドプラスカード

充実のサービスが満載のゴールドカードです。入会、利用特典が通常の「ビュー・スイカ」カードよりも更に豊富で、毎日の鉄道利用やエキナカなどの様々なシーンでお得にご利用いただけます。



○その他の主なカードのラインナップ

	Suica付き	Suica無し
鉄道系	「ビュー・スイカ」リボカード	
生活サービス系	エスバルカード ジェクサービュー・スイカカード weビュー・スイカカード アトレビューSuicaカード	ペリエビューカード フェザンカード
提携他社の発行するビューカード	イオンSuicaカード スーパーICカードSuica「三菱東京UFJ-VISA」 みずほマイレージクラブカードセゾンSuica ANA VISA Suicaカード SMBC CARD Suica 横浜バンクカードSuica	TOYOTA TS CUBIC VIEW CARD

○大人の休日倶楽部カード

「大人の休日倶楽部」会員専用のカードです。JR東日本線・JR北海道線のきっぷが何回でも割引になるほか、おトクな会員限定きっぷなど、多くの特典で会員を集めています。年齢によりミドル用、ジバング用の2種類があります。

〈ミドル〉



〈ジバング〉



○グループ外企業との提携カード



●JALカードSuica

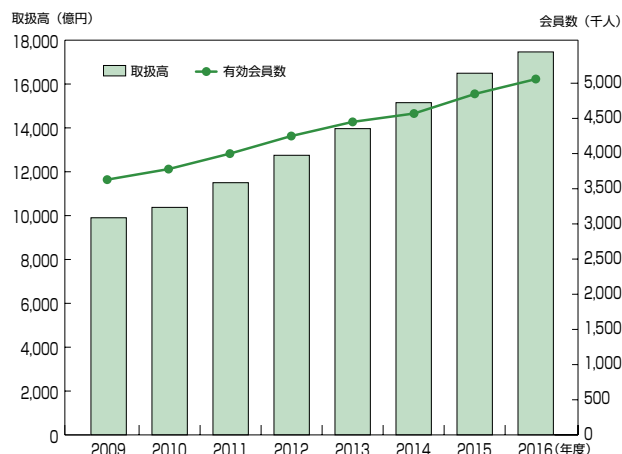
クレジット利用でマイルがたまります。



●ビックカメラSuicaカード

ビックポイントカードとSuica付きビューカードが一体化。

●ビューカード有効会員数・取扱高



●ビューカードの利用可能箇所

(2017年3月31日現在)

・ショッピング

JR東日本のみどりの窓口、びゅうプラザ、指定席券売機、多機能券売機、JR各社の主な窓口、JR東日本の駅構内の主な店舗・駅ビル・ホテル・駅レンタカー等
国内外のJCB加盟店、VISA加盟店、MasterCard加盟店

・キャッシング (2009年4月1日以降、新規にご契約いただいたビューカードではキャッシングサービスはご利用いただけません)

VIEW ALTTE、提携金融機関のCD・ATM等

● エキナカATM「VIEW ALTTE」(ビューアルッテ)によるサービス

(2017年3月31日現在)

名称	エキナカATM「VIEW ALTTE」(ビューアルッテ)
設置台数	222駅などに374台
サービス内容・機能	・ご利用代金のお支払い ビューカード ・ビューカードによるSuicaへの入金(チャージ) ・オートチャージの設定・解除・条件変更 ・サンクスチャージ クレジットのご利用でたまったビューサンクスポイントをSuica付きビューカードのSuica部分へ入金(チャージ)できます。 ・提携先ポイントのSuicaへの入金(チャージ) 「JALカードSuica」のご利用でたまったJMBマイルや「ビックカメラSuicaカード」のご利用でたまったビックポイント、その他の提携カードのポイントをSuica部分へ入金(チャージ)できます。



● 外貨両替センター

駅構内での外貨両替のニーズへの対応として、外貨両替機及び外貨両替センターでの両替サービスを開始しました。2017年3月末現在、5駅5箇所でご利用いただけます。



● 海外発行カード専用 キャッシュディスペンサー

海外で発行された一部のカードについて、日本円の引き出し及び残高照会のサービスを行っており、2017年3月末現在で8駅10箇所を設置されています。



■ びゅう商品券

1995年4月に発売を開始した「びゅう商品券」はJR東日本の駅・びゅうプラザのほか、駅ビル、ホテル、KIOSKなどのグループ会社、加盟デパートや量販店等で利用できる便利な商品券です。

(500円、1,000円券の2種類を発行しています)



■ WiMAX

※ WiMAX：UQコミュニケーションズ㈱等が提供する高速無線通信サービス

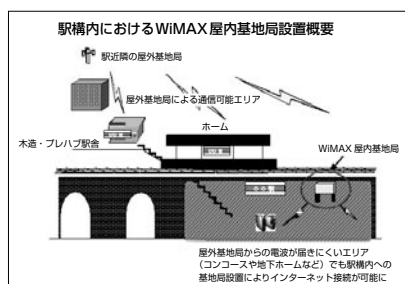
● 駅構内へのWiMAX基地局設置

首都圏を中心とした163駅にWiMAX屋内基地局を設置し、屋外からの電波が届きにくい改札内のコンコースや地下ホームなどでも、WiMAXによるインターネット接続をご利用可能としています。

また、より高速な通信を可能とするために、現在、WiMAX2+屋内基地局設置を進めています(2017年3月末現在166駅)。

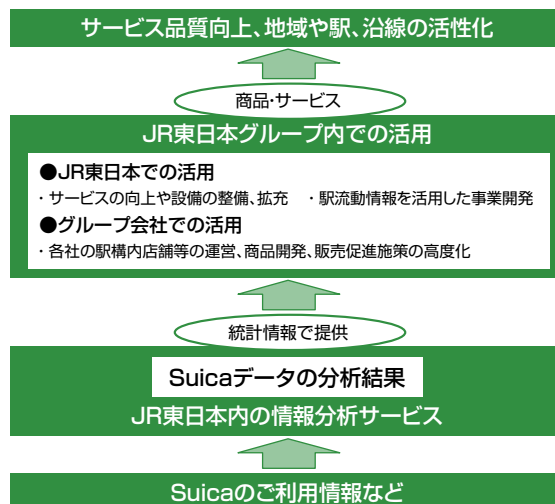
● 特急列車でのサービス提供

成田エクスプレス(E259系)やひたち・ときわ(E657系)では、車内に設置した無線LANのアクセスポイントから、屋根上のアンテナを通してWiMAX網に接続することで、車内でのインターネット接続を可能としています。



■ 情報ビジネスの取組み

2013年度に情報ビジネスセンターを立ち上げ、Suicaやビューカードに関する統計情報を活用する取り組みを、JR東日本グループ内で進めています。統計情報の分析結果をサービスや設備の整備、事業開発などに活用することで、サービス品質の向上、地域や駅、沿線の活性化の実現を目指しています。



■ JR東日本アプリを活用したビジネス展開

2014年3月にサービスを開始し、2017年3月末時点で246万件ダウンロードされたJR東日本アプリを活用し、無料のゲーム・電子マガジンや、クイズ、クーポンなど、移動中に楽しんでいただけるコンテンツを提供するほか、広告を配信しています。

